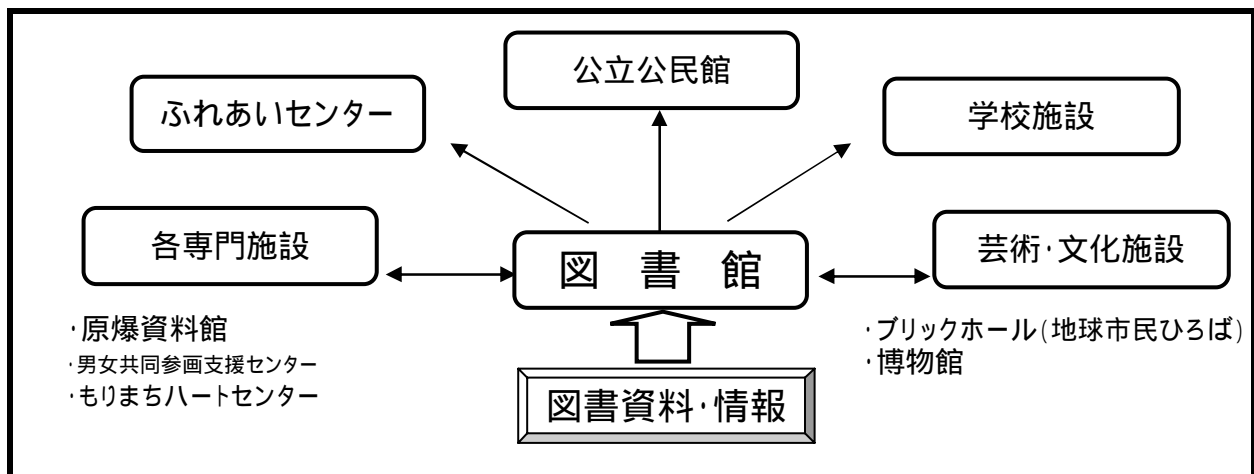


第5章 図書館の役割

ここでは、図書館の「生涯学習推進における役割」として、他の関係施設としての位置付けを明確にするとともに、「図書サービスにおける役割」として、他の施設との図書情報ネットワークにおける位置付けを明らかにする。

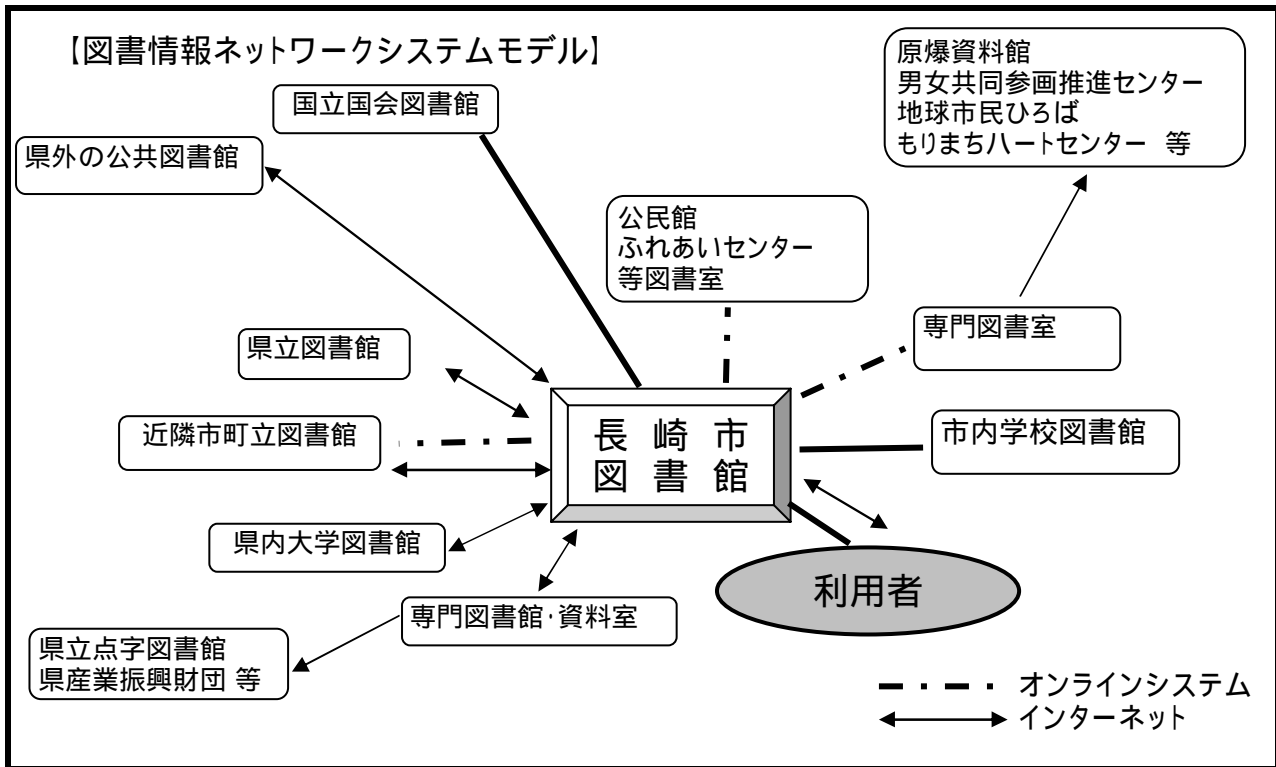
1 生涯学習推進における役割

長崎市の図書館は、他の関連施設との連携により、次代の知創造社会、「長崎市の生涯学習基本計画」に示す本市が目指す生涯学習社会の形成に向けて、本市の生涯学習・知的生産活動の場のひとつとなるとともに、他の活動の場への図書資料・情報による支援施設としての役割を担う。



2 図書サービスにおける役割

広域的需要をカバーする中核市の図書館として、また、図書情報ネットワークシステムの中核として、現在の図書オンラインシステムの高度化をはじめ、他の図書館、施設とのネットワークサービスシステムを確立する。



3 図書館職員の役割

図書館の多様な機能や情報を支え、サービス提供の最も重要な鍵となる専門知識・高度な技術を持つ職員を育成、配置して、利用者からの多様な情報ニーズに応えていくなかで、新たな情報ニーズを発見、予見し、地域情報を整備していくことにより、過去の集積のみでなく、未来への情報生産を行うことができる。

図書サービスの担い手である職員が、地域情報を活用するためのアドバイザーとしての役割を担うことにより、図書館が地域文化の継承から新たな創造に向けての場となる。